

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第87号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年3月22日 05時30分ごろ	
発生場所	山口県柳井港 柳井港西防波堤灯台から真方位336° 610m付近 (概位 北緯33° 57.4′ 東経132° 7.9′)	
事故等調査の経過	平成21年3月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 旅客船 しらきさん、441トン 136185、周防大島松山フェリー株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構</p> <p>B 巡視艇 くがかぜ、24トン 133996、国土交通省海上保安庁</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷外板の擦過傷及び凹損、右舷プロペラ翼の曲損</p> <p>B 船尾ハンドレール及び旗竿の折損</p> <p>その他 棧橋接続橋の固定チェーンの脱落、棧橋の保護金具の曲損</p>	
事故等の経過	A船は、船長ほか4人が乗り組み、旅客1人を乗せ、柳井港のフェリー岸壁に着岸作業中、強風を受けて巡視艇基地浮棧橋に向け圧流され、平成21年3月22日05時30分ごろ、A船の右舷側と、同浮棧橋に無人で係留中のB船の船尾部及び同浮棧橋先端部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 南南東、風速 約20m/s</p> <p>海象：平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>A船は、柳井港のフェリー岸壁に着岸作業中、強風を受けた際の操船が適切でなかったため、圧流されたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、柳井港において、A船がフェリー岸壁に着岸作業中、強風を受けた際の操船が適切でなかったため、圧流されて浮棧橋に無人で係留中のB船及び同棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。	